

2010.7.1 発行 不老川流域川づくり市民の会 代表 相馬和彦
 連絡先 04-2965-1741 <http://furougawa.mods.jp/>



不老川の源流に向かって歩く 才茶川との合流部 4月14日

天の川は観えるようになるのだろうか

私は和歌山出身、小さい頃、梅雨の合間に見える天の川を観たときの思い出が今も残る。星を細かく砕いて銀の粉にして、大きな川に流したように拡がっていた。いつしかだんだん見づらくなって、それでもきらきら輝いていた。関東に来てからは、晴れた夜であっても天の川らしき大河の流れはもちろん、きらきら輝く川らしきものも見えない。

多分、不老川が汚れ、水質汚染が問題となってきた時期と、ほぼ同期しているのではと思う。

不老川の水質が昭和20年代までの水質に戻れば、あの壮大な天の川が観察できることになるかもしれない。残念な事に、地球温暖化と共に中国の奥地では砂漠化が進み、狭山市でも黄砂現象が観察されることが多くなってきている。しかしながら、少しずつではあるが、環境に対する人々の意識が良い方向に変わってきている事に、これからを期待したい。

小川泰男



オカトラノオ

花序をトラの尾に見立てたもの
 山王塚では昨年冬に間伐し、日
 当たりが良くなった場所に群れ
 て咲くようになった。

不老川散歩 入間市宮寺から源流を目指し

最近、夫婦や友達同士で散歩やウォーキング、ジョギングしている人の姿を見かけることが多くなりました。散歩には、目と脳を休める効果があると言われ、気分転換にも最適です。不老川は、全長約 18 km の一級河川ですが、下流から上流そして水源地域まで、異なった様子や景色が楽しめます。

・川の様子や地域性、風景の変化

⑦新河岸川合流から石橋下流までは、河川改修工事が終了し「洪水に強い護岸工事で深く掘り拡げられ、一部を除きフェンスが取り付けられました。またスロープや階段が造られ、川辺に降りることができる所があります。川越市の市街地を抜け新田地帯に入ると、区割された畑地と屋敷林の風景が続きます。落差工がなくなったことにより、遡上した魚が見られるようになりました。①草刈橋から権現橋間は、川幅を拡げる工事が継続中です。現在 ⑦西武新宿線橋梁と⑤大橋の拡幅工事中です。狭山市から入間市にかけて市街地に入ると、人の行き交う姿も多く見られ、水と緑の貴重な環境になっています。④今回の散歩は、河川工事が行われていない入間市宮寺のやまゆり荘から瑞穂町の源流まで、「不老川のお宝」を探しながら歩きました。

まず大森調節池を見学し、⑧狭山ヶ丘高校グラウンドの湧水出口でカワモズクとアオカワモズクを観察しました。白子川から参加された水生植物に詳しい須貝さんは、大変感動されていました。(2種とも埼玉県レッドリスト絶滅危惧 A 類)

・土手に咲くニリンソウ

本流に戻り大森橋下流からは、茶畑や狭山丘陵の銀白色に輝く芽吹を眺めながら、また足元にはさまざまな野草が生え、その香りを感じながら気持ちの良いウォーキングです。「わーきれい！」白い小さな花ニリンソウがリンとした姿で法面に固まって咲いています。カントウタンポポも咲き、在来の植物が生育しています。いつの間にか頭痛を忘れ元気が出てきました。宮寺生活排水処理施設を見て、やすらぎ公園のあずまやで昼食をとったあと、製油工場からの排水(魚が住めるまできれいにして排水しているとのこと)や大橋左岸にある上流浄化施設を見学しました。水量が少なく、吸水口に落ち葉やゴミが溜まり使われていないようです。

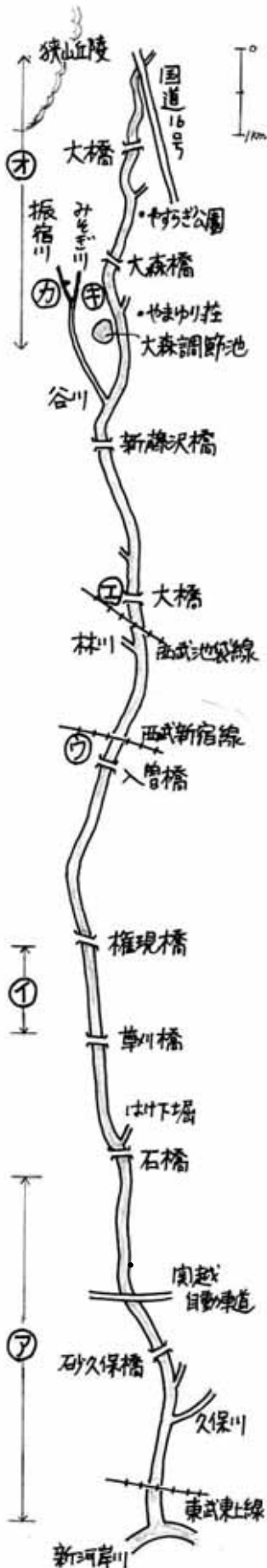
・源流は東京都瑞穂町

大橋が都県の境界で、東京都に入ったとたん 3 面コンクリート護岸になりました。いよいよ国道 16 号に入り源流はもうすぐです。アスファルト道と車の騒音で疲れがどっと出てきました。ホテルの脇を流れその先は畑地になっています。ここが不老川の源流でかつては湿地でしたが、現在は降雨の後に水がたまる程度です。

・不老川景観 1 と多様な自然植生

帰路は来た道を戻り⑥雑木林沿いの土手を歩きます。ここは「元気な入間ふれあい茶ん歩道」のパンフレットの「武蔵野を歩く」の中で紹介され、表紙の写真にもなっています。カーブした河道とやわらかな自然護岸そして、雑木林や茶畑が素晴らしい景観となり安らぎを与えてくれます。護岸工事などで土が掘り起こされると、待ってましたとばかりに外来植物が侵入し繁茂します。在来植物の多様な植生を認識しお宝の一つとして保全することが大切です。今日は菜の花摘みもでき、夕食にほろ苦い春の味をいただき、有意義な不老川散歩になりました。 2010年4月14日歩く

西部環境事務所から 3 名、和光市白子川から 1 名、他流域市民 計 16 名参加



デジョン市の水と緑

丸橋かほる

韓国中部のデジョン（大田）市に移り住んで一年になりました。この街は七〇年代から先端科学都市として再開発されてきましたが、市は周囲を低い山並みに囲まれ、中心部には三〇〇m巾の川が二本、緩やかに流れています。町中まで入り込んだ山裾と、二重、三重に植え込まれた路樹が、緑のトンネルを作り、心安らぐ景観です。韓国の人は何しろ緑が好き、少しの土地があれば木を植えています。

最近、市内の川がこちらで改修されました。特に、駅前のデジョン川は一〇〇m巾いっぱい暗渠に載っていた建物を取り払って、子どもたちのための親水公園を作りました。もちろん水際や中州は草地です。韓国の川づくりも多自然がキーワードになっているようにですね。



おさそい

第1回

としたり公園で 魚類調査

7月18日(日)

9:30より

魚に川を語ってもらおう

魚の噂が飛び交う不老川

どんな魚が捕れるでしょう

水槽で展示をします

問い合わせ 村手 (04-2957-3425)

川づくりに参加しませんか

定例会: 毎月第3土曜日 13:30 ~

年会費: 1000円 詳細は下記世話人まで

入間市 相馬 04-2965-1741

狭山市 村手 04-2957-3425

所沢市 小黒 04-2923-8946

川越市 高木 0492-43-9828

第11回大森の池まつり

草地や水辺で

思い切り遊ぼう

8月8日(日) 10:00~15:00

大森調節池(入間市宮寺)にて

参加費 100円(保険料)

持ち物: 飲み水、昼食、着替え

(水に入れる用意)

主催 大森の池実行委員会

問合せ: 相馬 (04-2965-1741)

= 流域情報 =

去る6月22日、平成22年度第1回の新河岸川流域川づくり連絡会が開催され、今年度の活動計画を検討した。中で、今年の夏、不老川を含め、支流各河川で行われる“川まつり”の日程が発表された。多彩なイベントがあり、上記連絡会のHPに掲載されるので、ご参加下さい。

編集後記

川沿いを歩いて、クサイチゴ、クマイチゴ、クワの実をつまみ食い。微かに甘く優しい味。「昔こうやって食べたっけ」「ナワシロイチゴはまだね」。生い茂った土手があって味わう自然の恵み。6月の川歩きで。

(H.T)